

4. 国際戦略の方向性

東北大学は、国際戦略の方向性として、国際協働を深化させ、また、包括的国際化を通じて世界へ先導的に貢献することを掲げる。

- 国際協働の深化：東北大学は、世界的な視野を持つリーダーの育成、グローバルな公共財としての最先端の知の創造、国境を越えて展開する産学連携とにおいて、多様な学外パートナーとの国際協働を深化させることで先導的な役割を担い、国内外の先進社会課題の解決に貢献する。
- 包括的国際化の推進：東北大学に関わるあらゆる構成員が国際化を主体的に担い、世界の人材・資源・ネットワークのハブとなることで、「知識集約型社会」を先導する総合研究大学としての責務を果たす。

本「国際戦略」の主目的は、国際協働の深化と包括的国際化により東北大学のミッションとビジョンを高いレベルで実現することにある。このため、本「国際戦略」は、教育、研究、産学連携、社会課題の解決という東北大学の全活動領域に亘って、国際協働を深化させ、包括的国際化を推進するものとなっている。また、本「国際戦略」に対応する形で、4つのターゲットとその実現を支える2つのプロセスに分けて、具体的に取り組むべき「アクション」が示されている。総長直下の国際戦略室は、国際協働の深化と包括的国際化という2つのプロセスに重点を置いて諸活動を推進させることで、全学的な行動による各ターゲットの実現に貢献する。以上を通じ、総長のリーダーシップのもと、学内の多様な構成員による自由闊達な国際学術交流を開かれた形で推進、支援し、全学・部局独自の戦略に沿った国際展開を推進することで、全構成員の参加による国際協働の深化を促す組織文化を醸成させ、本学の「国際戦略」を着実に実行していく。